



たくましく ゆたかに 大地を吹く 風になれ

simba 獅子波

ナイロビ日本人学校
The Nairobi Japanese School

P.O. Box 948 -00502 Karen Nairobi Kenya

Tel : 0746 - 978 - 378

E-mail : njs.main@gmail.com

2025年度 3月号
No. 11

「ひとりみんなのために みんなはひとりのために」

校長



私は中学校を卒業するまでは体が弱く、全校朝会などでは最後まで立っていることのできない子どもでした。当然、全てのスポーツもうまく何もできない子どもでした。そして、友だちも少なかったような気がします。中学を卒業するとき、担任の先生から「お前は、体も心も弱いから、ラグビーをやってみては」と言われ、地元のラグビーの強豪校に入りました。そして、高校入学と同時にラグビー部に入り、自分自身の弱点を感じながらも、少しでもうまくな

りたいと思ってハードな練習に耐えました。その甲斐もあって高校2年生になり、初めて試合に出られるようになりました。

当時、監督からいつも言われていたことが、今でも忘れられません。それは「ひとりみんなのために」という言葉でした。一人一人が頑張らないとチームが強くなれない。そのためには、全員が「勝つんだ」という同じ方向の気持ちをもたないとダメだと監督から幾度となく聞かされてきました。それは、高校から大学に入っても監督が違って同じでした。大学時代レギュラーにはなれませんでした。チーム全員で日本一を目指そうと「ひとりみんなのために みんなはひとりのために」の精神で厳しい練習を頑張りました。そして、ラグビー有名校でもない私の大学は、ついに日本一になりました。今、私は、ナイロビ日本人学校を「子どもが行きたい学校 保護者が行かせたい学校」にすることを目指しています。さらに今後は「学ぶこと



の楽しさを感じられる学校」へしていきたいです。

私は、ナイロビ日本人学校の校長として思うことがあります。それは、ラグビーボールは丸くなくおもしろい形をしています。どこに転がっていくか分からないボールを、みんなで助け合いながらゴールまでもっていくスポーツです。だからこそ、ラグビーの合い言葉に「一人はみんなのために みんなは一人のために」があります。進級・卒業する子ども達には、一人一人がそれぞれに全力を尽くしてチームのために動き、チーム全体が一人のことを考えて行動することを身に付けてほしいと願っています。また、保護者の皆さんにしても、自分の子どもが通っているナイロビ日本人学校が、力を合わせて、子ども一人一人を大切にする仲のよい学校になることを望んでいると思います。学校全体のまとまりは、子ども、保護者、教師それぞれが頑張っている、うまくいくものではありません。ナイロビ日本人学校に関わっている全員が同じ方向を向いて力を合わせる事が大切です。この1年間をふり返ってみると、子どもも保護者もそして教職員も全員が、前を向いて進んでいました。

学校全体が「ONE TEAM」になりました。子どもの成長の証として、各学年の成長を漢字一文字で表現してみました。

小学部

- 1年生「 礼 」挨拶が最高によかったです。
- 2年生「 進 」全ての行事で前を向いて頑張っていました。
- 3年生「 志 」いつも自分をふり返り、正しい手本となっていました。
- 4年生「 励 」クラス全員で励まし、積極的に活動していました。
- 5年生「 聖 」知恵が豊富で模範となっていました。
- 6年生「 挑 」どんな時も励まし、積極的に挑戦する姿がよかったです。

中学部

- 1年生「 望 」希望をもち、何事にも前に進んでいく姿は頼もしかったです。
- 2年生「 輝 」一人一人が自分らしく輝いていました。
- 3年生「 絆 」同級生や下級生を大切に、最上級生としてよく頑張っていました。



今、学校では卒業式の練習を全体で取り組んでいます。年間の学校行事の中で一番大切な卒業式です。子どもも教師も一人一人が卒業式の大切さを意識して、練習から本番まで自分のことではなく、全体のことを考えて行動しています。一人一人がナイロビ日本人学校のために、児童生徒のためにやろうという気持ちを持ち続け、よい結果を生み出そうと頑張っています。とても頼もしく嬉しい限りです。



最後に、令和7年度は終わりますが、令和8年度も「夢と希望」をもって、いろんな出来事に出会っても「ひとりみんなのために みんなはひとりのために」の言葉を思い起こして、少しでも前進してほしいです。この1年間、ナイロビ日本人学校のためにご理解とご協力をいただき心から感謝申し上げます。「子どもが行きたい学校、保護者が行かせたい学校」の更なる実現を目指します。ご支援よろしく願いいたします。

卒業生からのメッセージ

私は今日までに、今までの自分をはるかに超えるほどの成長ができました。それは、「発言のできる自分」になれたことです。先生や友だちの言葉をもらい、自分から行動し成長ができました。成長するまでの苦しさの中には、「憧れ」が隠れていました。誰かを目標に憧れるのは追いつけず、凹むときもあります。それは、辛いことです。ですが、傷を追う苦しみとともに成長する喜びに巡り会えたことは、何よりも感動しました。この思いを忘れてしまわぬように心に留めておきたいです。これから、どんなに凹む時があってもくじけずに挑み続けたいです。

6年

私が一番成長できたと思った出来事は4年生の時と5年生の時の学習発表会でした。4年生の時は、リーダーとしての重い「責任感」、5年生のときは「全力でする」大切さを学びました。でも私がこのようなことを学べたのは友だちの存在があったからです。自分一人では「頑張ろう」、「全力ですることを意識しよう」なんて思うことはなかったと感じます。さらに、先生は、できていない部分を叱るのではなくアドバイスを伝えてくれました。友だちは、どんな時も支えてくれました。やはりもつべきものは友なのだ学ぶことができました。当時の先生やお友だちにはいくら感謝をしても足りないくらいです。

6年

この6年間でたくさんのことを学びました。特に心に残ったことは、運動会です。運動会は、自分から意見を言うことを頑張りました。「どうやったらうまくいくか」などを自分から考えて積極的に意見を出し、頑張りました。そのおかげで今年目標の「積極的に発言」の近道になったのではないかと思います。僕にとって今年の運動会はいいい経験になり、思い出に残りました。中学生になってもたくさん成長していきます。

6年

私は、日本人学校に来て、500文字を紙に書くとは思いませんでした。最初の方は、500文字を書くのに心の中でびっくりしていました。そんな私を今の自分から見ると、今では500文字を書くのが当たり前になっていました。そんな私でも、小6のはじめから最後までできなかったことがあります。それは、『相手に説明をする』ことです。授業の中で、説明という単元をやりました。その単元を受けてから、まだ説明力が6年生のみんなより足りていなかったことを説明という学習が教えてくれました。だからこそ、私は中学生になったら説明を克服したいです。他にも、私は、6年生になって新しい経験ができました。それは、『バスケット大会』に出たことです。このことで、私にとっての成長につながりました。

6年

ぼくは、4年生のころ発言や発表が全くできていませんでした。みんなを引っ張るということも考えたことがありませんでした。しかし、5年生になったころ友達にも大きく関わる大事な誕生日の手紙のことを全くせず、嘘までついていました。他にも提出物などのいろんな人に関わることも雑にこなしたり、やらなかったりしていたときもありました。しかし、平田先生や友達みんなが声かけをしてくれたり、見えないところで支えてくれたりしたおかげで変わらないといけないと自覚し、今では企画部の部長をしたり積極的に発言ができるようにまでなりました。今度は、自分がみんなを支えていきたいです。

6年

卒業生からのメッセージ

3月5日の卒業式に向けて、着々と準備をしていますが、その準備をするたびに「もう卒業するのだな」と最近感じています。

中学校三年間を振り返ってみると数え切れないくらいの思い出ができました。休み時間にくだらない話でみんなが大笑いしたこと。学習発表会の中学部の発表で本番に笑ってしまい、後半がほぼ歌えなくなってしまったこと。静かにするはずの自習時間で、騒がしくなってしまったこと。今思えば、自分がこんなに声を出して笑ったのはこのような出来事や仲間がいたからだと思います。たとえそれが特別な出来事ではなくても、くだらないことで笑っていたあの何気ない日常が私にとって一番の思い出です。それぞれの道に行ったとしてもこれらの思い出を忘れずに、これから先の道を行っていきたいと思っています。そして、またどこかで再会し、あの時のように笑い合えるといいなと思います。

中学3年

卒業のときをむかえ、今、寂しい気持ちと、嬉しい気持ちでいっぱいです。この三年間でたくさんの経験をしました。その経験は、私を大きく成長させてくれました。

中学生1年生で入学したとき、ひらがなとカタカナが少ししかできず、入学式の校長先生の話が全く理解できませんでした。しかし、日本人学校に入れたことが、不安よりも喜びのほうが大きかったです。それでも、授業や会話がうまくできるか心配でした。しかし、中学1年生で出会った同級生に助けられ、私が変な日本語を話したときには、直してくれました。そして、昼休みには理科の先生と勉強をして、本当に助かりました。三年間を振り返ると、中学1年生のころが、今でもすごく楽しい1年でした。毎日おなかが痛くなるまで笑い合ったことを絶対に忘れません。

私は、日本語が理解できず、テストや授業中にみんなのようにうまく書いたり発言したりできなかったです。しかし、あきらめずに単語を毎日覚え、勉強を続け努力しました。中学2年生のときは、自分の努力の成果が少しずつ実感できるようになりました。その時は、うれしい気持ちで「ありがとうございます」とみんなに伝えていました。ここで得た自信があったからこそ運動会の団長や遠足のリーダーに挑戦することができました。

今後は、日本人学校で学んだことや成長したことを高校生活や将来の夢に生かしたいです。

中学3年

いよいよ卒業が迫ってきました。卒業に向けて、今できることはこの三年間をじっくり振り返り、自分自身を見つめ、将来の目標に向かっていくことです。私はこの三年間で成長できた所がたくさんあります。その一つは、コミュニケーション力です。実は私は小学校までは話す機会が少なく、主に朝の挨拶と昼の放送だけでした。友達も、自分から声をかけられないような人間でした。しかし、少人数であるこのナイロビ日本人学校では、低学年から高学年まで関わる機会が多く、様々な人と仲を深めることができました。他には、行事などでも人を引っ張る大変さ、そして物事を達成したときの嬉しさも学び、大切な思い出となりました。これからは、自分をじっくり振り返り、自分自身の課題とその解決を探り、更なる成長をめざしていきたいです。

中学3年

水泳学習のふりかえり

1月～2月にかけて、水泳学習を行いました。子どもたちは限られた時間の中で、「どうすればうまく泳げるか」を考え、精一杯練習をし、泳力を高めていきました。以下は児童生徒の振り返りです。

小1

- ぼくは、だるまうきが楽しかったです。つぎの水泳は、もっとだるまうきをうまくやりたいです。もっといろいろなことをしたいです。
- おにごっこがたのしかったです。ういたり、ばたあしをしったりするのたのしかったです。
- わたしは、まえは水えいがあんまりすきじゃなかったです。でも、やってみたらたのしかったです。だるまうきがうまくできるようになりました。おにごっこもたのしかったです。
- わたしは、水泳でたくさんおよぎました。むずかしいおよぎ方があったけれど、なんとかできました。いろんなおよぎ方があったので、すごくてたのしかったです。
- ぼくは、うくのがとてもたのしかったです。つぎのすいえいでは、もっとじょうずにうきたいです。
- わたしは、だるまうきと、たからさがしがたのしかったです。だるまうきは、みずのうえにうくのをがんばりました。たからさがしは、たからをひとつひとつとるのをがんばりました。



小2

●
わたしが、水えいでがんばったことは、だるまうきで、足によくつかまることです。次もやりたいです。わたしがくふうしたことは、おにごっこで、おにがタッチしたら、でんしゃみたいたいにつながるようにしたことです。

●
ぼくは、水えいでチームワークが大切だと思いました。チームワークはとてもだいじですが、チームでうごくのがとてもむずかしかったです。つぎのあそびでもがんばりたいです。

●
ぼくは、水えいでがんばったことは、どうぶつあるきです。とくにむずかしかったのは、ワニになることです。ワニは、プールのいちばん下まで手をやってうごくので、むずかしかったです。でもがんばってワニになれました。うれしかったです。

●
ぼくは、水えいの中でたからさがしと、ビートばんでおよぐのがいちばん楽しかったです。たからさがしは、けっかはっぴょうがきになるから、すきです。3年生になったら、ひらおよぎをしたいです。

●
わたしは、ぜんぶの水えいのじかんが楽しかったです。とくに楽しかったのは、さいごのじかんです。それは、おにごっこをして、1かいめにさいごまでのこったからです。2かいめは、つかまったけれど、とてもたのしかったです。



● 今回の水泳の目標は、「バタフライで泳げるようになる」でした。ドルフィンキックだけをする場合は足で水を押し出すようにすることが分かりました。次に手の動きも付けてやりました。水から顔を出す時は手で強くかいて上げることがコツです。途中までは一回一回、深くもぐりすぎて上がるのに体力を使って半分までしか泳げなかったけれど、頭をそこまで下にしないで一回一回を速く泳いだら 25m 泳ぐことが出来ました。また、滅多にないと思うけど、体力をあまり使わないクロールの泳ぎ方を学んだので、海に投げ出されたときに学んだことを生かしたいです。

● 私は、平泳ぎができるようになりました。今回初めて平泳ぎを挑戦したので、泳げるか心配でした。しかし、友だちや先生方に「足と手はピンッと」などのアドバイスをもらいました。その結果、平泳ぎができるようになりました。そのあとに、背泳ぎをしました。友だちに「力をぬく」などとアドバイスをもらいました。何回か水をのみましたが、25m 以上泳げました。家にあるプールでたくさん泳ぎたいです。次回は、バタフライに挑戦していきたいです。

● 今年の水泳学習では新しい泳ぎとしてバタフライと平泳ぎができるようになりました。どちらも、手を使いますが、足でしっかりと水をけることが重要だと思いました。このように泳ぎは基礎が重要だと分かりました。他のスポーツでも基礎をしっかりとさせることでよりよい動きが出来ると思いました。

● クロール 25m、平泳ぎ 25m 初めて泳げました。2つの泳ぎに共通するのは「伸びる」という動作だと思いました。それを意識することで少し長く泳げるようになったと思います。また、たくさん泳いで、泳ぐたびに意識するものを変えると、何が足りないのか見えてきたと思います。この「何度もやる」ということを勉強にも反映させていきたいと思っています。

学校における水泳運動の最も重要な目的は、「命を守る術を身に付けること」だと考えています。今年度も5回の授業を通して、子どもたちは楽に浮く方法や楽に泳ぐ方法、呼吸を続ける方法を身に付けるためにがんばりました。今回の学習で、学んだこと・できるようになったことを生かして、ぜひご家庭でも水遊びや水泳に親しむとともに、来年の学習にもつなげてほしいと思います。ご協力ありがとうございました。

ご挨拶 令和7年度 本帰国教員より

ナイロビでの3年間は、様々な出会いによって生かされる日々となりました。特に一番時間を共に過ごした日本人学校の教職員や児童生徒の皆さんの存在です。海外で生活することが初めてだった私にとっては、母語を話せる環境は有り難く、日本の文化とのちがいに戸惑いながらも、前向きな言葉に救われました。特に同期の先生たちには成田空港で出会った時から情報を共有し、困ったことがあるとすぐ相談できる頼もしい存在でした。さらに、担任となった6年生の子どもたちや保護者の皆さんにも不自由さへの対応力の逞しさやナイロビでの有意義な生活情報を教えてもらいました。地元のドライバーやケニアスタッフ、そしてEnglish teacher など挨拶程度のスワヒリ語や拙い英会話しかできない私にフレンドリーにケニアの文化を教えてくださいました。社会の校外学習で訪問させていただいた、日本企業や地元の施設など個人では行けないような体験も子どもたちと共に学習することができ、それぞれの専門家の方のお話は大変貴重なものでした。この出会いを財産に日本の教育に貢献していきたいと思います。有難うございました。

()

この3年間、子どもたち一人一人とそして保護者の皆様としっかりと向き合えたかけがえない貴重な時間でした。子どもたちがどのように学べば成長できるだろうか。と授業のあり方や、行事での取り組みを日々考えていました。複式授業だからこそ、子どもたち自身が考え、学びを進められるように一人一人に学力だけではなく「学び方の力」を身につけられるようにと心がけました。今では子どもたちが「先生、私は今日この部分を自分で考えていきたい」など自分から学ぶことを意識して取り組むことができるようになりつつあります。与えられるものだけをこなすのではなく「問い」をもちながらこれからも成長してほしいと思います。

そして何より、私自身が成長させてもらえたと感じています。私の予想を遥かに超える子どもたちの力を前に、「もっとできることはないか」と日々私の成長も試されたように感じます。

最後に保護者の皆様には、学校に対して理解と支援があったからこそ教育活動が実現できたと感じています。だからこそ私も思いっきり様々なことに取り組むことができました。本当にありがとうございました。日本でもさらにこの経験を生かし成長していきたいと思います。また、どこかで会える日を……いや必ず会いましょう。

()

長年の願いが叶い、ナイロビ日本人学校への赴任を告げられた日のことを、昨日のこのように思い出します。あの日から、あっという間に3年が過ぎました。この3年間、多くの出会いに恵まれ、日本では決して得られない貴重な経験をさせていただきました。

これまで、多くの学校関係者の皆さま、保護者の皆さまに支えられて任期を全うすることができました。心よりお礼申し上げます。そして何よりも、個性豊かで、思いやりのある子どもたちと過ごせた時間は、幸せな日々でした。授業の中で「先生！見て！これができるようになったよ！」と嬉しそうに話してくれた子どもたちの表情。みんなで成し遂げた数々の行事での達成感。日々の他愛のない会話。その一つ一つの思い出が、とても愛おしく、私にとってかけがえない宝物になりました。ナイロビ日本人学校の子どもの成長に携わることができた経験が、今後も私を支えてくれると確信しています。子どもたちのこれからの歩みと成長を、遠くからではありますが、楽しみに見守らせていただきます。

日本へ帰国した後も、ここで培った経験を生かしながら、次は日本の子どもたちのために日々努力してまいります。本当にありがとうございました。また会える日まで。さようなら。

()

3月の主な行事予定

日にち	内容
3月2日(月)	卒業式予行
3日(火)	特別清掃、運営委員会・PTA役員会
4日(水)	卒業式準備
5日(木)	卒業式
6日(金)	修了式・お別れの会・離任式
7日(土)	春季休業 始(～4/14(火)まで)

新年度の主な行事予定

日にち	内容
4月15日(水)	始業式・着任式・入学式
6月13日(土)	運動会
7月18日(土)	夏季休業 始
8月16日(日)	夏季休業 終
10月24日(土)	学習発表会
12月10日(木)	冬季休業 始
1月4日(月)	冬季休業 終
3月5日(金)	卒業式・修了式・離任式